

2023年12月27日
AREホールディングス株式会社

サーキュラーパートナーズに参画

当社は、経済産業省に事務局を置く、サーキュラーパートナーズ（サーキュラーエコノミーに関する産官学パートナーシップ）に参画しました。

近年、廃棄物問題や気候変動問題等の環境制約に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、資源の効率的・循環的な利用と付加価値の最大化を図る、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行が喫緊の課題となってきました。サーキュラーエコノミーを実現するに当たっては、個社ごとの取組だけでは経済合理性を確保することは難しいと考えられています。そのため、サーキュラーエコノミーに野心的・先駆的に取り組む、国、自治体、大学、企業・業界団体、関係機関・関係団体等の関係主体における有機的な連携を促進し、サーキュラーエコノミーの実現に必要な施策についての検討を実施するため、「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」を立ち上げることが発表されました。2023年12月22日に立ち上げイベント/第1回総会が開催され、パートナーシップの名称を「サーキュラーパートナーズ」として活動していくことになりました。当社も主にガバニングボードを通じて、「ビジョン・ロードマップ」の策定、「サーキュラーエコノミー情報流通プラットフォーム」の立ち上げ、「地域循環モデル（循環経済産業の立地や広域的な資源の循環ネットワークの構築等）」等に貢献する予定です。

今後も当社は「この手で守る自然と資源」というパーパスの下、環境負荷の低減に貢献する「貴金属事業」、資源やエネルギーの循環に貢献する「環境保全事業」を通じてサーキュラーエコノミーの実現に取り組んでいきます。

以上

<参考：12月22日の立ち上げイベント・第1回総会の様子>



当社代表取締役社長東浦知哉がガバニングボード委員として出席